

2017年6月

NPO法人 学習塾全国連合協議会 東日本ブロック

NPO 塾全協

塾全協東通信



題字：伶齋（白川亮 進ゼミ柏）

2017年5月21日（日）レポート

場所：アットビジネスセンター東京駅

文と写真：NPO 塾全協 全国事務局長・東日本ブロック広報局長 中村基和

(1) 東日本ブロック総会

14:00～14:30

平成28年度 活動報告及び決算報告、平成29年度 活動予定及び予算案、が承認されました。

(2) (第16回) 中高入試を考える会

15:00～17:00

参加者：40名



開会挨拶をする沼田広慶 NPO 塾全協会長

中学入試



講師：森上展安氏（森上教育研究所）

《概要》。中学の人気度は、早慶の次のランクの大学附属・系属校、例えば明中などの人気が上がっている。

- 女子校がパットせず、共学校が勢いをつけている。
- 国公立を目指す学校でないと評価が出ない。
- 入試問題で英語入試が増えている。
- 相似比、理科のグラフ、難しい漢字など皆が出来ない難しい

問題は差がつかないということから、どうでもいい難しい問題が出さないという傾向が見られる。
◦算数の出来る子はずっと出来るが、英語は中2くらいになると難しがつてやらなくなる子がいる。
真ん中から上の学校は従来の入試で良いが、下は「どんな子を育てるか」のアピールが必要だ。

東京都高校入試

講師：穴澤嘉彦氏（新教育研究協会）



《概要》◦重点進学校など都立上位校の倍率は緩和。中堅どころは厳しくなっている。
◦専門学科は旧 1~4 学区は不合格者数が減っているが、6~10 学区は増えている。男子でオール 3 以下の生徒は併願が獲れなくなっていて、しかも都立志向のため普通科から専門学科に転向する生徒が増えているため。
◦学区で 3 番手、4 番手の学校が夏休み中に都立が PR を盛んにやる。例えば豊多摩は早慶上智、GMARCH の合格者を大幅に増やすなどがあり、男子の中堅上位層を中心に都立に流れる。
◦3.0 倍以上の学校志望者が減り、安全志向、内申点アップを

図る受験性が増えている。

◦（私）共学の併願校は定員オーバー。

千葉県高校入試

講師：五十嵐裕明氏（進学研究会）



《概要》◦倍率は以前より緩和されているが、あくまでも専門学科が下がっただけで、普通科は変わっていない。
◦上位に集中するのが千葉県の特色。
◦前期は専門学科、後期は普通科が増えている。
◦定員割れでも不合格が出る。（東京では考えられない）
◦（私立は）3 割が前期だけで入試が終わる。
◦東邦大東邦は帰国生以外は高校から募集しなくなった。（東京、神奈川と違い千葉では珍しい）
◦29 年度 5 教科入試実施校。。昭和学院英、渋谷教育学園幕張、

市川、千葉昭代付属（自己推薦）、聖徳大付属女子（特進特待）、麗澤（特進）、市原中央（HL チャレンジ）

あとで五十嵐氏に「5 教科入試は国公立大入試を意識してのことですか？」と答えたところ「そうです」。

埼玉県高校入試・総括

岩佐桂一氏（岩佐教育研究所）

《概要》◦小学生英語について。5、6 年は教科となり、評定が出るとなると中学校の英語の免許を持っていない先生が教えられないのではと文科省に尋ねたところ、そのとおりで、小学校の高学年の先生を中心に臨時教員免許を出すために講習会をやることを全国の大学と相談しているとのこと。



◦埼玉県は私立高校の入学金だけでなく施設費にも助成金を出すが、残念ながら埼玉県内の生徒が埼玉県内の学校に入った場合のみと条件をつけている。年収 500 万未満の家庭にとっては私立は殆ど「特待生」。

◦英語の導入を含め中学入試の変化、大学入試改革に伴って高校入試も何でもアリになる。

◦埼玉県の東大合格者数は去年栄東が浦和を抜いたが今年は逆に変わった。しかし、現役合格者数は栄東のほうが遙かに多い。原因はアクティブラーニングをやると知識を詰め込む時間が減ることになるからだ。アクティブラーニングを前面に出したいのなら授業時間を大幅に増やすしかない。私立は出来るが公立は無理。

◦平成 30 年度の公立入試は理科・社会が 40 分から 50 分に変更。英語・数学に「学校選択問題（難しい方）」。英語は難しい学校選択問題で受けた生徒の平均点が普通の問題の平均点より高いが、

数学は逆。

◦（私立）28 年度入試から狭山ヶ丘、浦和ルーテル、昌平が、29 年度入試からは織田学園、城北埼玉が定員を増やしたが、定員を満たしたのは昌平のみ。

◦今年の埼玉県私立入学者は 21500 人だが、その内 2000 人は県外。早慶などに入ったと考えられる。

◦埼玉県公的テストの拡大。偏差値廃止の発祥の県で偏差値が復活！理由は、埼玉県では平成 15 年から内申書の調査をしておらず、地域差、学校差を考えると偏差値の方があてになるから。

以上、あいにく私学のイベントとバッティングしたため来場者は去年の半分以下になってしまいましたが、色々参考になる話が聞けました。岩佐氏の「偏差値が復活」はインパクトがありました。

(3) 私学と私服の新年度情報交換会

17:30～19:30

参加者：約 50 名

↓開会の挨拶をする山下典男 NPO 塾全協
西日本ブロック理事長



↓星野重治実行委員長と参議院議員大島九州男氏



声の教育社小泉専務の音頭で乾杯！



村田芳明 NPO 塾全協西日本ブロック事務局長の閉会の挨拶。→
すっかりこの会の定番になりました。モロ大阪弁のオモシロイ話し方が大好評。大阪では私立の生徒に対する助成金のため特待生に意味がなくなり、修学旅行費やその他の代金を免除する特別奨学生の制度が出てきたとのこと。

NPO 塾全協東日本ブロック 今後の主な予定(2017年度)

9月18日(日) 東京 進学相談会

9月24日(日) 千葉 進学相談会

9月24日(日) 埼玉 進学相談会

編集 NPO塾全協東日本ブロック 事務局長 中山和行

〒350-0322埼玉県比企郡鳩山町今宿229番地

TEL 049-296-1111 FAX 049-296-1111 E-mail gyqbt650@ybb.ne.jp

NPO塾全協東日本ブロックHP <http://www.jzk-east.com>